



足どりも軽く

優勝旗を先頭に

こととして12回目を迎えた町内小学校野球大会は、6月17と27日に町営野球場で開催。〃カットバシー、〃ナイスピッチャー、と同級生や父母は一挙一投足に声援を送り健闘を称えていました。決勝では伏兵東小学校が強豪鷹巣小学校を相手に善戦。初回の1点を守って念願の初優勝。選手は足どりも軽く優勝旗を先頭にダイヤモンドを一周していました。

(関連記事は、ページに記載しています)

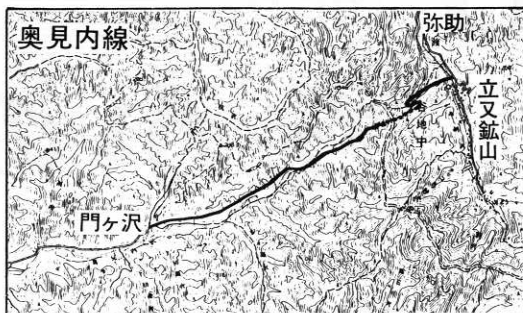
人口と世帯数

(住民基本台帳による)

	6月30日現在	(前月比)
総人口	25,265人	(4人増)
男	12,323人	(4人増)
女	12,942人	(増減なし)
世帯数	7,287世帯	(10世帯増)

工事が急ピッチ

奥見内林道はあと400mで完成



森林資源の油養と作業効果を高めるため、国の事業で広域基幹林道大摩当線、峰越林道奥見内線・前山滝の沢線の工事が進められています。これらの線は、藤黒町、比内町、田代町との短絡路線としても重要な役割りを果たすこととなります。

「緑豊かな国土を」ということから、町では森林の造林事業を積極的に進めております。森林は、いうまでもなく自然を潤う資源であると同時に、水源涵養、土砂崩壊防備などの治山治水と、大気汚染の浄化、木材供給という公益的性格をもっております。

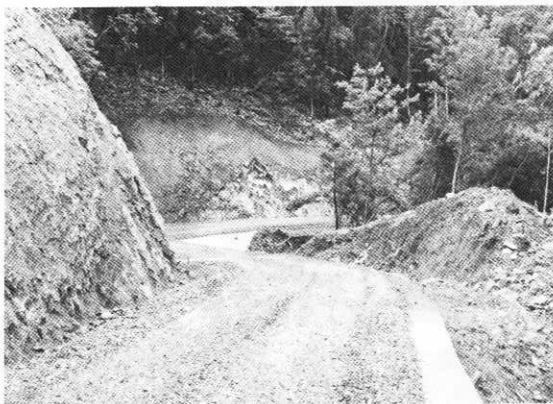
このため、町では山村林業構

造改善事業の指定を受け、森林の撫育管理から生産流通、加工に至る一貫した林産物の供給体制づくりを行うとともに、林業者の定住条件を図るため計画を策定し、事業を進めております。これらの事業を円滑に推進するため、国や県に要望しながら林道の整備事業を進めてきましたが、今年度は大摩当線、奥見内線が継続で、前山滝の沢線は新規で工事が行われています。

奥見内線完成まじか

峰越連絡林道奥見内線は比内町弥助から七日市宇タラ口（門ヶ沢）までの六千六百六十七メートル（鷹巣側は四千七百二十八メートル）を整備するものです。

この事業は、昭和五十四年度から進められており、残り四百メートルの残工事が完了する九月上旬に、幅員四メートルの立派な林道が誕生します。五カ年の総事業費は五億



町長日誌

出川禮一

6月15～30日

■16日(木) 前日(15日)に続いて六月定例議会の一般質問。日本海中部地震対策や教育施設整備の長期構想、農業振興などで鋭い質問をうけた。いずれも町の将来を担う内容だけに議会の意志を尊重したい。午後4時からは旅館組合総会に出席。

■18日(土) 公民館で行われた民生児童委員研修会に出席。講師・野添憲治氏の「日本人は閉鎖的で他人の迷惑を考えない。外国ではプロック壁がなく開放的な造りだが日本は

出席。県南方面からの便多し。但し河北林道が整備されると県北方面も余録あり。

■24日(金) 午後5時から全国の精鋭50チームを迎えて全日本9人制バレーボール実業団女子選手権大会の開会式。十数年前は紡績関係チームの出場が多かったが、様変わりして今回は金融関係のチームが多くなった。秋田県から出場チームがないのが淋しい。

■25日(土) 鷹巣競技場で郡市小中学校陸上競技大会。朝からの雨で全天候の威力を発揮したが、寒かったので選手がかわいそう。5時から町陸協主催で、私の県陸協功労賞受賞祝賀会を開いてくれた。

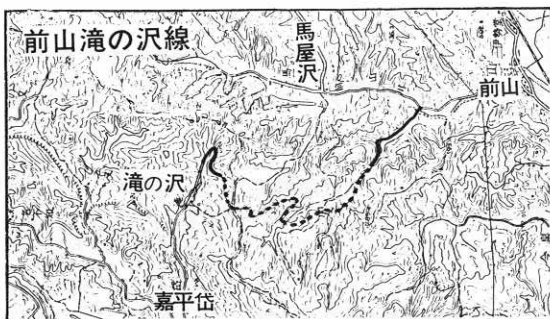
その逆。今回の地震でも多くの壁が倒れ大事故の心配を産んでいる」になるほどと一人うなずく。夕方は連青の球技大会で「地域の連帯を深め信頼される青年になるためには、まず体力づくりを」と激励。

■19日(日) いつものことながら日曜日は多忙で朝早い。太平町運動会には開会遅く失礼したが、建設技能組合運動会、母子寡婦総会に顔を出す。寡婦総会で久しぶりに前知事夫人・小畑好子さんとあう。

■23日(木) 新空港のバイパス淀川河辺有料道路竣工式に

■27日(月) 全日本バレーの決勝が行われ、群馬銀行対西日本相銀の息詰まる一戦に我を忘れて観戦。来年のインターハイが脳裏をかすめる。

■28日(火) 郡の議員研修が当町で。「郡内発展のため町村の垣根を払って話し合いが先決。灯台もと暗しで案外隣接町村の施設、及び運用等財政構造を含めた研修が必要」とあいさつを述べた。



“緑豊かな国土”をめざし 広域峰越林道

四千九百万円で、受益面積は国有林が千五百四十七畝、民有林が五百十五畝と、計二千六十二畝が恩恵を受けることになります。また森林事業の振興と併せて小猿部地区にとっては、比内町大館、東北自動車道の十和田インターの短絡路としても活用されることになり、生活や林産業の振興と交流にも役立つと関係者から喜ばれており、完成が待たれています。

六〇年完成の大摩当線

広域基幹林道大摩当線は、田代町外川原から四波まで。昭和五二年度から事業が進められています。総延長一万八千七百一十一メートルで、このうち一万八千二百一十一メートルが完成、田沢と外川原間が供用開始されております。

今年度は、二千九百一十一メートルが工事中であり、総事業費十一億七千万円を投じて、昭和六〇年度に全線開通の予定であります。同線一帯は、森林資源が豊富で、民有林千七百七十五畝、国有林千二百二十七畝、計二千八百三十二畝の針、広葉樹林帯が広がっています。

いままでは、広大な面積の割に基幹林道がないため、手が加えられない箇所も多かったが、同線の整備により植栽、撫育管理が容易になると同時に、作業効率が高まります。また、大型車の通行が可能に



なるので集材、運材に威力が発揮され、経費の節減にもつながると受益者から喜ばれています。

三力年で前山滝の沢線

峰越連絡林道前山滝の沢線は、ことし新たに採択されたもので前山字観音堂前から藤里町大沢字滝の沢間の五千八百メートル（鷹巣側は四千八百メートル）。総事業費は二億七千万円で、受益面積は民有林は三百七十畝、国有林は二百四十畝、計六百一十畝となっています。

この林道も、藤里との短絡線として、生活、経済活動に生かされることになり、六〇年度の完成が待たれています。

農薬を正しく使いましょう

- ▼農薬のうちでも毒性の強い毒物や劇物に該当するものは、購入するときに印鑑が必要です。
- ▼農薬を収穫前の農作物に使用するにあたっては、農作物に残留するおそれがあるので「農薬残留に関する安全使用基準」により使用時期、使用回数、使用方法などを守ること。
- ▼残った散布液や防除機具の洗浄液は、用水や河川などへ流さないで、販売先に回収してもらうこと。
- ▼農薬の空容器を子供が持ち出して遊ばないように、販売先に回収してもらうこと。
- ▼農薬散布直後の果樹園を通り抜けた児童が中毒になった例もあるので、散布後1週間程度は散布区域に立入らないこと。

第 14 回

全日本大学選抜相撲大会

主催 日本学生相撲連盟、鷹巣町、秋田県教育委員会

日時 7月31日（日） 開会式 午前9時

場所 鷹巣体育館特設土俵

出場校 〈東日本〉 国土館大学、東京農業大学、日本大学、明治大学、専修大学、日本体育大学、拓殖大学、駒沢大学、青森大学… 9校

〈西日本〉 同志社大学、中京大学、近畿大学… 3校

全日本9人制バレーボール実業団女子選手権大会



『日本一の太鼓に上に登ってバチをふる勇敢な選手』

『開会式は米内沢高校のドリルマーチングで零団気を盛りあげていました。』



『優勝した群馬銀行』

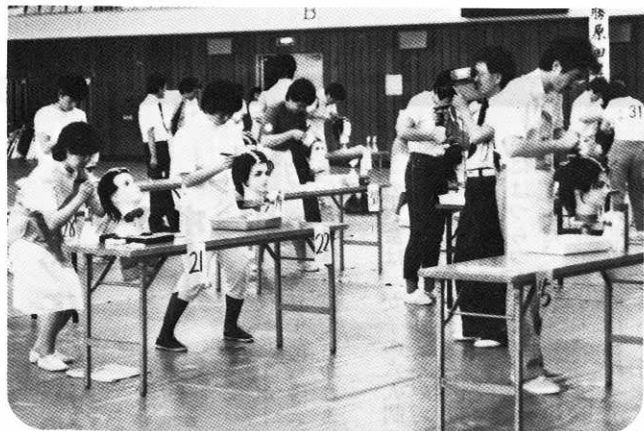
歓迎・大会運営は好評でした

全国各地から選抜された精鋭を迎えて、全日本九人制バレーボール実業団女子選手権大会が、六月二十四日から二七日までの四日間、鷹巣体育館を主会場に行われました。

参加チームは、前年度優勝の群馬銀行や沖縄県の琉球銀行など五十チームで、選手、役員、応援団など約千人が来町。

予選リーグ、決勝トーナメントで熱戦が展開され、訪れた観衆は遠来の選手に盛んな声援と拍手を送っていました。結果は、ことしの「あかぎ国体」の優勝を目指し、実力をつけてきた群馬銀行が、強敵福岡県代表の西日本相互銀行を2対1で破って二連勝。三位にはタイガー魔法瓶（大

阪）、フコク生命（東京）がくい込みました。なお、この大会は五九インターハイのリハ・サルを兼ねて行われたもので、全国から集まった選手役員も、歓迎体制、大会運営のすばらしさに「本番も成功するでしょう」と折り紙つきの好評を得ました。



ジュニアの基礎部門で健闘する選手たち

秋田県理容競技大会が、七月四日午前九時三〇分から鷹巣体育館で行われました。同競技大会は、経営上の創意工夫と、お客様からのニーズに応え、理容技術の資質の向上を図るため毎年開催しているもので、ことしで二十八回目。種目は創作レイズカットヘアなど三部門のほか、ジュニア対象の基本の部で出場選手は七十人余り。日頃の腕前を披露し

ました。ジュニアを除く三部門では、持ち時間にモデルのヘアをカットし、全体をソフトに仕上げするもので、モデルの個性を生かすよう手際よく作業を進めていました。会場には、全県から理容師が詰めかけスタンドを埋めつくして、健闘する選手に声援を送っていました。華麗に仕上がったモデルが審

査を終えて場内を一周すると、感嘆の声がもれ、観衆をうっとりさせていました。

観衆もうっとり

県理容競技大会



審査を受けたモデルが場内一周

7月4日～5日

厳しい自然条件を克服し、培った体力、知識、技術を総合的に発揮する山岳競技

の県民体育大会が、竜ヶ森（一〇四九・八メートル）を会場に、当初で初めて開催されました。七月二日午前十一時、駅前から児童公園まで、選手、役員およそ三百人がバレードを行い、街行く人たちは、初めて接する山男の行進に足を止めて声援し

町で初の県体山岳競技
鷹巣が二連勝

7月2～3日



踏査競技では通過ポイントを地図に記入するため、ゴール前で念入りに点検する選手

テント設営は3分間で……女子選手も絶妙なチームワークで手際よく設営

ていました。競技は午後から開始され、仙戸石沢、高島帽子の踏査競技では、ポイントと地図に記すなど知識と技術が要求されていました。また、午後五時からは三分以内でのテント設営や天気図作成する正確さが競われました。

翌三日は、午前六時に仙戸石を出発。小繁森、竜ヶ森、寒沢のコースを少年男女、成年男女、オーブンのチームが、二十以上のリュックを背負って縦走。体力を競いました。結果は、少年男子の部で鷹巣農林高校が二連勝を飾りました。



チビツ子の声援を受けて

バレーボール 綴子小が三連勝

二十四回小学校バレーボール大会は六月二八日午前八時三〇分から鷹巣体育館で行われました。

この大会は、女子の六人制で町内から七校が参加。スタンドを埋めつくしたチビツ子応援団の声援を受けて、コートいっぱいにはつらつとしたプレーが目立ちました。

試合は、予選リーグ、決勝トーナメント方式で行われ、決勝では綴子小と鷹巣小が対戦。左

右からのオープン攻撃とレシーブは小学生離れしており、高度な技術で他チームを圧倒していた綴子小が、ストレートで勝ち三連勝を飾りました。

対戦の結果は次のとおり

12回小学校野球大会

東小が念願の初優勝

第十二回小学校野球大会は、六月一七日に一回戦と準決勝、二七日に決勝戦が町営球場で行われ、東小が初優勝を飾りました。

大会には町内から六校が参加。同級生や父母たちの声援を受け、ハッスルプレーが続出。白熱したゲーム展開となりました。

一回戦は、昨年のスポーツ少年団野球大会（新人戦）で優勝した中央小と東小の対戦となったが、両チームとも守備の乱れから打撃戦となり三時間に及ぶ長期戦に、最終回二点を上げた東小が13対11で競り勝ちました。練習試合で着実に力をつけた綴子小対西小の試合は、綴子小が斎藤、沢田と継投したものの、

▼予選リーグ

〔Aブロック〕 鷹巣小2―1東小 東小2―0竜森小 鷹巣小2―0竜森小

〔Bブロック〕

綴子小2―1南小 中央小2―0西小 綴子小2―0西小 南小2―0中央小

▼準決勝

鷹巣小2―0中央小 綴子小2―0東小

▼決勝

綴子小2 (15 15) 0 鷹巣小 (15 5)

初回の3失点が試合を左右し、7対4で破れました。

準決勝第一試合・東小対南小は、試合で調子を取り戻した東小の打棒がふるい、12対4で五回コールド勝ち。つづく第二試合の西小対鷹巣小も13対5で、鷹巣小が六回コールドで勝ち。

東小対鷹巣小で決勝が行われましたが、初回に東小が三塁打を含む長短打で1点を先取。その後、両チームの投手戦となり、コントロールに優れている東小・中島の好投に、鷹巣小は一安打に封じられシャットアウト負け。優勝した東小は、七月一六、一七の両日、合川球場で行われる郡予選に出場することになり、健闘が期待されています。

保険料は

納期内納付を

国民年金



かけて安心
くらしの年金

納め忘れありませんか

お宅では、六月分までの保険料納付済みですか……納め忘れがないか、お手もとの納付通知書をもう一度お確かめください。

保険料を納め忘れたままにしたり、滞納しておりますと、突然の事故によって障害者や遺族になったとき、障害年金や母子年金などを受けることができません。事故が起きてから、あわてて納付したり、期限後に納付しても間に合いません。

最近では、保険料の額も高くなり、数カ月間も未納にしておりますと、金額も大きくなり、納付も大変になりました。本町では、納め忘れ防止の

ため、「口座振替納付制度」を開いたしております。手続きも簡単です。一度最寄りの金融機関にお尋ねください。

保険料免除申請受付中

〔地震災害も対象〕

国民年金の加入者は、農業、商業、自由業、無職などいろいろの職業や所得階層の人が加入しているため、失業や少収入のために、保険料納付の困難な人もあります。そのような人たちが対象に、申請することで保険料免除する制度があります。

免除される方は、強制加入者（必ず国民年金に加入しなければならぬ者）で、免除されますと、その期間は未滞納期間とならず、十年以内であれば、当時の保険料で納付できる期間となります。

また、免除期間は未納期間でないため、将来の老齢年金受給資格期間に算入されるという利点もあります。

保険料を納められない人は、放置しないで係で申請手続きをお取りください。

※ 5・26地震災害により、住宅や家財または田畑などに損害を受けて、納付困難な家族の申請免除を受け付けております。

おしらせ



高齢者に職業紹介

高齢者の豊富な経験と能力を生かしてもらうために「高齢者能力活用推進事業」をご利用ください。

▼事業主の皆さんへ

新たに人を雇うほどでもないが、決まった期日までに処理しなければならぬ仕事があったときなど、申出（登録）ください。

▼求職者（高齢）の皆さんへ

本格的な就職を望まないが、短期間の仕事を望んでおられる方、ぜひ申出（登録）してください。職種は、園芸、表具、大工、左官、塗装、板金、たたみ職、木工、筆耕、家事手伝い、その他などです。

申込先は北秋田福祉事務所
☎二二二七五

参加してみませんか

旧町の中、高校生
ソフトボール大会に

中央公民館主催で第二回鷹巣地区中学、高校生合同町内対抗ソフトボール大会が八月七日に

鷹巣小学校グラウンドで行われます。

旧鷹巣地区の新住居表示の町内（隣接二旧町内合同でも可）単位で中学、高校生（女子も含む）が入り混じりチームを編成し行うもので、地区の将来を担う中、高校生がスポーツを通してお互いに交流し、つながりを深める機会にしたいものです。※申し込みくわしくは公民館へ。

生活記録を募集

昭和五八年度の「毎日農業記録賞」の作品を次のとおり募集しています。

▼応募資格 農業を営むか、従事するか、農業に関心を持つ個人またはグループ。性別、年齢は問わない。

▼募集内容 面白い農村社会を築いていく方法の探求と、これを成し遂げた喜びなどの体験記録。未発表作品に限る。

▼作品枚数 四百字詰め原稿用紙十枚以上二十枚以内（黒のボールペンか黒のペン書き）

たのしみ
工事中

▼作品提出先 五八八年八月末日までに秋田市山王六十一一八、毎日新聞秋田支局「毎日農業記録賞係」まで。

▼請負額 千九十万円 ▼請負者 河喜工務店・河田喜七郎

▼工事期限 八月二五日

▼工事場所 綴子字胡桃桃館地内

▼請負額 千八十九万円 ▼請負者 花田工務店・花田藤雄

▼工事期限 八月二五日

▼工事場所 綴子字胡桃桃館地内

▼請負額 百五万円 ▼請負者 藤島ポンプ店・藤島勝由

▼工事期限 八月三一日

（公営住宅電気設備工事）

▼工事場所 綴子字胡桃桃館地内

▼請負額 百十万円 ▼請負者 寺田電気工事・寺田敏蔵

▼工事期限 八月三一日

（道路維持工事）

▼工事場所 松葉町・住吉町地内

▼請負額 六百七十万円

▼請負者 米代川商事・保立了

▼工事期限 九月九日

▼工事場所 元町地内

▼請負額 八百五十三万円 ▼請負者 丸栄建設・山内千代治

▼工事期限 九月九日

▼工事場所 元町地内

▼請負額 三百二十万円 ▼請負者 北秋建設・渡辺昌

▼工事期限 八月一五日

▼工事場所 材木町地内

▼請負額 四百五十五万円 ▼請負者 板倉建設・板倉七郎

▼工事期限 八月一五日

▼工事場所 綴子字岩谷

▼請負額 二百三十五万円 ▼請負者 佐藤建設・佐藤清治

▼工事期限 七月二一日

郷土史年表

昭和	和	時	代	西暦	年号	事項
			一九五五	一九五四	昭和二九	○二月一五日 坊山分校舎新築落成
			昭和三〇			○二月二一日 田沢部落大火、十一戸を焼失
						○葛黒で大火、二十六戸全焼
						○暖冬異常
						○テアプレコーダー登場
						○二月二七日 第二十七回衆議院議員選挙・石田博英・須磨弥吉郎・石山権作・細野三千雄・笹山茂太郎・根本龍太郎・川俣清音・齊藤憲三当選
						○四月一日 鷹巣町・栄村・坊沢村・七座村・沢口村が合併し、鷹巣町として発足す。
						○四月一日 鷹巣町公民館設置
						○四月二三日 公選第三代目の知事に小畑勇二郎当選
						○四月 鷹巣町長に成田喜八当選
						○四月 成田重右衛門 県会議員に三回目の当選
						○五月三日 大館市駅前大火 五百八戸焼失
						○九月一日 竜森小PTA片逸造林地除伐
						○一〇月一日 小繋、麻生、下田平、鷹巣町より分離して二ツ井町に編入。
						○一〇月九日 合川駅前大火 三十七棟焼失
						○一〇月二六・二七日 沢口小学校創立八十周年記念式典、祝賀会・学芸会 展覧会等多彩な行事を行う

会員の増やし方 などを学習

青年大 学



鷹巣町連合青年会（出川喜英会長）は、六月二五日、午後七時半から坊沢公民館で、今年度第一回の青年大学を開催しました。当日の参加者は約四十人で、テーマ「財政確保とその使い道」「新入会員の増やし方」について、それぞれ単位青年会から出されたレポートを叩き台に活発な意見を交わしました。

育林学習などで財政確保

青年会が活動をすすめていく上で、その活動資金をどのようにして捻出するかは、大きな問題です。

会費の実状は、年間、多い所で四千元、少ない所は千円位となっています。

祭典に舞台を架けての演芸で二五万円もあげているところ、おみこしをやっているが最近では子供会との競合で難しくなってきた。お盆のビヤガーデンは人気があるが経費もかかり、へたをすると赤字を出すことになるなどの実践例が出されました。

その中で、綴子連青が数年前からとりくんでいる町有林の枝打ち作業や、集落の薬剤散布作業は確実な収入源であり、育林や農業の学習にもなり効果をあげています。部落からの補助をうけているのは七座（二万円）だけでした。

支出では、スポーツ行事の反省会、研修慰安旅行などに使う

ところが多い中で、文集「はばたき」を毎年発行（綴子）、地区にゴミ箱を設置し基幹集落センターに捕虫器を寄付している（七日市）所もあります。

広報活動で もCCPRが必要

町の青年会の登録者は現在のところ鷹巣四〇、沢口二五、七日市三五、栄四〇、七座二〇、綴子連青一〇六（田中二〇、掛泥九、向黒沢六、小田、田子ヶ沢一三、上町一五、下町一四、大堤一〇、糠沢一七、岩谷、二本杉二）合計二六六人となっています。

それぞれの地区にはかなりの青年がいるが、組織の中に入っていないのが実情で、リーダーになつていいる人方は家庭訪問したり、何人かを集めての勧誘をしたりなどしています。なかには「うちの息子が青年会に入れて一人前にしてくれ」という親もいますが、一般的に家の人方に青年会のこと理解されておられないのが現状です。

近隣の若者が、ときどき会合し集落のことを語り実践できることはやってゆくことの大切さをみんなに理解してもらうためカベ新聞や、機関誌などでもっとPRすることの必要を語り合いました。

この日は夜の十一時まで話し合い、終ってからこん親会をしました。

ふるさと 人物伝 50

は
せ
が
わ
て
い
ぞう
長谷川 貞 三

一八七〇—一九三八



明治三十五年一月、青森歩兵第五連隊の八甲田山遭難事件は、雪中行軍隊二百十名中生存者僅か十一名、他は全員凍死するという悲惨なものであった。ときの指揮官、神成文吉大尉（鷹巣出身）については前に紹介した。

この事件の残り少ない生存者のひとりである陸軍歩兵特務曹長 長谷川貞三氏は当町太田の出身である。彼は明治三年六月、長谷川家九代目家孝の三男として生まれる。

明治二十三年十二月、歩兵第五連隊に入隊、二十六年、二等軍曹、二十七年一等軍曹、二十九年曹長、三十二年特務

曹長に昇進する。

三十五年一月二十三日、八甲田雪中行軍隊の編成外随行列（山口銀少佐の指揮下、四十五名）に加わり出発する。途中天候急変し全部隊、道に迷い吹雪の荒野をさまようことになる。

二十五日、彼は雪の崖から谷底に転落し隊からはぐれる。ようやくにはいりあがり、胸までつかる雪の中を泳ぐように進むうちに炭小屋を発見し、数人の兵と共に避難する。彼は兵達に、凍死を防ぐため手足を摩擦させ、深く眠らぬように大声を出させるなど細かい指示を与え実行させた。やがて声さえ出なくなり、一同死を覚悟したが、二月三日捜索隊に救助される。二十三日より十一日目のことである。その後、彼は日露戦争に出役、黒溝台の戦いで負傷する。大正三年、陸軍大尉となり退役、能代市に居住する。

大正八年、八森村民に請われ、一期、四年間村長をつとめる。昭和四年頃より八甲田慰霊塔を計画し着々すすめるが満州事変のため中止となる。昭和十三年十一月死去。

（資料、龍谷忠雄著「八甲田遭難事件、生と死の実録」、長谷川家当主 啓司氏談）
文責 中央公民館長 長崎久



中国留学生の指導でニイハオ

中央公民館では6月3日から「中国語講座」を開催し、29人が参加して熱心に勉強しています。これは、合川町の大野台営農大学校に中国から留学している、劉傑元、李英田両氏の協力で開講されたもので、学生から60代までの受講生は、ニイハオ（こんにちは）、ザイゼン（さようなら）など初歩的な日常会話が主で、8月までの毎週金曜日午後7時から8時30分まで開設。

銀座通りは町内のメインストリートで商業活動の最も盛んなところですが、同商店会では接客マナーが優

れ、永年勤続の従業員を27年前から毎年表彰。

ことは7月6日中央公民館で行われ9人の優良従業員を表彰しました。表彰の後にはパーティーを開いて慰労。店舗対抗の演芸大会では、自慢のノドを披露し、なごやかな賑わいをみせていました。

商店の優良従業員を表彰



議員さんも研修会で勉強

北秋田郡町村議会議員研修会は、6月28日午前9時30分から中央公民館で開催され、町村議員や町村長などおよそ160人が参加。「国の財政は厳しいが、一致団結して懸案事項の実現はかる必要がある」と村上儀八郎会長（町議長）があいさつ。研修会では、決議事項の報告を行い満場の拍手で採択。その後、町内の施設を視察し、議員の交流と親睦を深めました。



自転車の正しい乗り方と交通事故を防ぐため、第8回交通安全子ども自転車コンテストが、7月2日鷹巣

小学校で4校11チームが参加して行われました。テストは学科と実技（安全、技能走行）で練習の成果を競い合いました。結果は竜森小A（堀部渉、柏木浩、鈴木博、畠山朝広）が優勝。2位に鷹巣小Aが入り、全県大会へ出場することになりました。

竜小A、鷹小Aが全県へ



の広場



西幼稚園
のろだいすけくん(5歳)



娘は小学五年生。私は娘を怒った記憶があまり残っていない。というのは、我が家では無言で二ツの約束を守らせているからです。一ツは履物を揃えて置くこと、二ツ目は朝おきたらお互いに挨拶をかわすこと。最少の約束をお互いに守ることで家族の和が成り立ちます。



新舟見町
榎森 正(41)

二ツの約束を

今回のテーマ 『父親が怒るとき』

対談 親の意見・子供の意見



クサノオウ

ケシ科

道ばたや空地に生える二年生草木。花は黄色で初夏に開く。

茎葉のしぼり汁を湿しん、いぼ、たむしに何回かぬるとよい。

方言にタムシグサ、イボクサ、チドメグサ、ヒゼングサがある。

(南小学校 畠山 益穂先生)

娘は小さい時は、遊び疲れて帰って来ると、履物が元氣よく右、左とはみ出している。こんな時は、揃えるまで玄関で待たれました。娘はこの次から必ず揃えたと約束はしますが、またご破算。繰り返し揃えさせましたが効果は上がりませんでした。たまりかねて、「履物が可愛想だから履くのはやめるように」と叱りつけた。それから、いつも履物を揃えておくようになったと記憶している。

また、娘が二歳になった時から我が家では、家族同志の挨拶を交わしています。年端のゆかない子供は挨拶の意味は解らないと思うが、自ら娘に挨拶して

わたしの自慢こ

“馬車ひき稼業”を生涯続けたい

太田・長谷川伊久雄(48)



私の父は昭和一八年にソルモン島上陸を目前にして戦死したので、小学校五年になると祖父の手解きを受けて、馬の世話をやられたものです。中学を卒業すると同時に一家の働き手として農業に従事しなければならなかったのです。当時は堆肥づくり、馬耕、代かきと馬は農家に欠くことのできない仕事仲間。

十五、六の私にとってはあまりにも厳しく、汗と涙が同時に流れるときもありました。しかし、私の後を黙々と追いついてくる馬に慰められながら、冬の土引きなどは、体型が大きくなって一トン余りの馬にとって雪を丹念に踏み締め慎重に作業しなければなりません。

この頃では木材業界も不況で仕事も休みがちだが三〇年以上続けた“馬車ひき稼業”は、私一代となるが生涯続けたいと思っています。

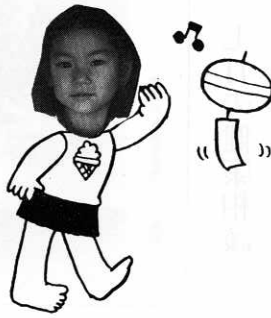
ら、慣れぬ農作業もひと通り身に付けることができました。この時以来、馬との二人三脚が始まったのです。

冬になると決まって山に泊り込みでの運材、夏は砂利運搬や農作業。しかし機械化の波には勝てず、農家から馬が減り出してしまいました。

現在では、労働馬が町内で三頭になってしまい、仕事も思うように見つからなくなりましたが、二三年前から仕事を求めて、大館や鹿角へ馬といっしょに出向くことが多くなりました。



西幼稚園
くまがいまきこちゃん(5歳)



みんな

慣れさせました。年齢を経るに従い、他人への挨拶を欠かすことはありません。
健康やかな成長を願って子供に甘い自分を戒めています。

父にしかられた



竜森小3年

堀部 佳文

ぼくが一年生のころ、作ぎょう場のかいだんをのぼって、二かいへ行こうとした。

弟の和久に「下でまってれ」といって、ぼくはのぼっていった。下をみたら、和久ものぼってきた。

「和久、おれ」とさげんだ。それでも和久がのぼってきたの

で「おれ」と大きな声でいった。

そのとき、和久がかいだんからころげおちて、戸にガチンとぶつかった。

「あっ」と思って、急いでおりていった。弟の頭から血がながれてはげしくなれた。

母は手あてをして、病院へつれていった。

ぼくは、父におこられた。

「なして和久どご、二かいさつれていぐつて」「小っちゃんであぶねべ」と、すごいいきおいでおこられた。

そのとき、どうしてぼくがこられるのか分からなかった。

今かんがえてみると、小さい弟のいる所で、あぶないことをしてみせたからだと気がついた。

あのときの父のこわいかおが今でも思いだすことがある。



ゆかた

ゆかたは庶民のもの。肩ひじ張らず気軽に着こなすのが大切。

男の人は兵子帯で、子どもたちは三尺帯で、また娘さん以上の婦人はいつもよりやや胸高に帯をしめ、スラリとした感じに着こなしましょう。

ゆかたを選ぶコツはあまりゴテゴテしたような柄はさげ、あつさりとした白と紺の染めわけ

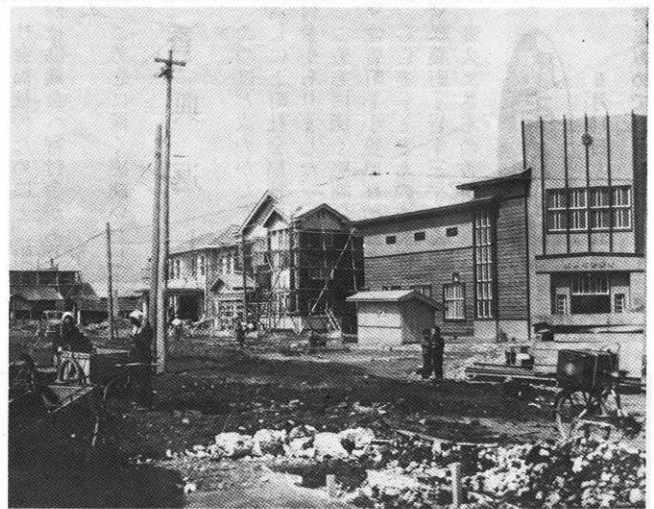
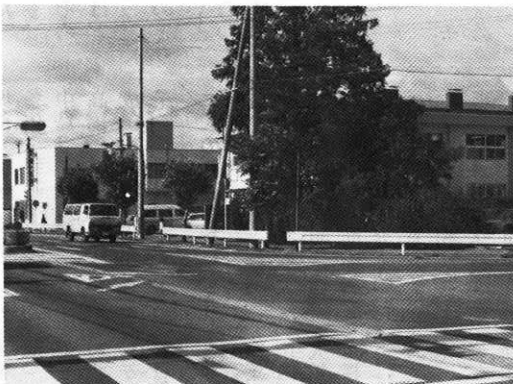
たものが結局のところアキが来ず長もちさせるコツといえそうです。柄の選び方にしても年相応のものより、ちよつと派手な感じのものにしましょう。

洗たく機で丸洗いし、のりをつけて干し、生かわきの時に取り入れてたたみ込み、ふとんの下に入れ宿押しをすればまたまた新鮮な気分を味わえます。

夏祭りもそろそろ始まります。うちわを片手に、素足にげたばき、日本人ならではの感触を楽しんでください。

昭和25年の大火で、町のほとんどがなめつくされましたが、町を挙げて復興にとりかかりました。写真は26年頃で、右端が鷹巣町警察署（当時の自治体警察で、のちに北教育事務所）、その隣りが総合庁舎。復旧作業も当時はリヤカーが唯一の機動力であつた。

(写真提供は、宮前町・津谷正明さん)



たかのすの昔

おしらせ



一線美術会連立委員 九島繁二氏

七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。
成人健康相談は、二七日です。
時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、一八日です。
時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。
また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。
時間は、午前一〇時から一一時まで。
※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◆ ◆

離乳食実習指導は、二二日〇五七年一二月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から一〇時まで。乳児健康診査も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◆ ◆

乳児健康診査は、二二日〇五八年三月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。母子手帳と問診票を忘れずに。
※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

胃集団検診

胃集団検診が六月二八日から八月三十一日までの期間、各地域で実施されます。

日程は、随時広報に掲載いたしますので、忘れずに受診してください。

七月一五日から八月二日まで
は次のとおりです。

- 15日〇川口、湯車(川口会館)
- 16日〇小ヶ田(小ヶ田会館)
- 19日〇緑ヶ丘(緑ヶ丘担い手センター)
- 20日〇蟹沢(蟹沢会館)
- 21日〇向黒沢(向黒沢山内宅前)
- 22日〇田沢、大沢、李岱、摩当(摩当生活改善センター)
- 23日〇太田、高野尻(太田児童館)
- 26日〇太田(太田児童館)
- 27日〇掛泥(掛泥会館)
- 28日〇深閑、相善(坊沢館)

相善会館) 29日〇黒沢、羽立、上町(坊沢公民館) 30日〇大町、新屋敷、街道(坊沢公民館)

8月2日〇小田、田子ヶ沢、松原(小田会館)

※時間は、午前五時半から七時まで

秋田県保母試験

県では昭和五八年度の保母試験を八月三十日、三十一日の二日間、秋田東高等学校(秋田市中通六丁目六番三六号)で実施します。

受験ご希望の方は、秋田市山王四丁目一番一号 秋田県福祉保健部児童福祉課へ申請してください。

受付期間は、七月一日から二三日までとなっています。

停電のお知らせ

七月の作業停電は、次の地区です。

- ▽18日〇李岱地区(午前九時〇正午)
- ▽20日〇舟見町、東横町、宮前町地区
- ▽27日〇綴子上町、下町、小田、田子ヶ沢地区
- ▽29日〇舟場地区(いずれも時間は午前九時から午後一時まで)
- ▽30日〇松葉町、駅前地区(午前四時〇七時)

行政苦情 一一〇番

行政監察局では、行政苦情相

談専用の電話を設置しました。相談内容は、恩給とか、年金、道路、農地問題、河川とかそのほか役所で行っている仕事はどんなことでもできます。

電話番号、受付時間は次のとおりです。ご利用ください。

〇一八八 二三一一〇〇〇

平日〇午前八時半〇午後五時
土曜日〇午前八時半〇午後一二時半

善意

▽鷹巣社交ダンス教室から、チャリティーダンスパーティーの収益金として一万一千円 社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします。
- ▽住吉町〇小笠原林治郎さんから亡妻トミさんの香典返し
- ▽松葉町〇岩本三平さんから亡妻スエさんの香典返し



6月16日〇6月30日

誕生おめでとうございます

- 堀部 朝子(聡 長女)東横町
- 釜田 幸子(一 長女)旭町
- 中島 徹敏 長男)旭町
- 高橋 祐樹謙祐 二男)綴子町
- 成田 進悟定信 長男)緑ヶ丘
- 千葉 耕太(光隆 二男)新舟見町

二人の前途を祝福いたします

- 高橋 亨 松葉町
- 長田 さち子 比内町
- 古仲 順治 大館市
- 長岐 弘美 東横町
- 佐藤 秀昭 あけの
- 斎藤 京子 舟場
- 藤嶋 和政 太田
- 田村 久美子 岩坂
- 三浦 重光 新田中
- 渡部 祐子 大館
- 石川 拓夫 南鷹巣
- 長谷川 昌子 七日市
- 佐藤 智子 太田
- 成田 光則 吉ヶ沢
- 佐々木 孝子 舟見町
- 大館市

おくりやみ申しあげます

- 藤原 永助(82歳) 下舟木
- 千葉 スヤ(57歳) 中屋敷
- 岩本 シエ(64歳) 松葉町
- 小笠原トミ(49歳) 住吉町
- 神成 ハナ(89歳) 下町
- 大川 キミ(71歳) 下町
- 本城宗五郎(58歳) 前野団地
- 佐藤 徳治(73歳) 材木町
- 桜庭 栄蔵(48歳) 花園町
- 永井 興吉(74歳) 坊沢羽立